

部活動の地域移行

中学生の 地域合唱クラブ活動 に関するガイドライン

合唱部活の
指針作りを
目指す！
全日本合唱連盟

全日本合唱連盟(JCA)の「部活動の地域移行等対応委員会」(委員長:戸ノ下達也)では、「**中学生の地域合唱クラブ活動に関するガイドライン**」策定作業に入っています。

学校の働き方改革と部活動の推進

これまで学校の部活動は、学校教育の一環として教員がほぼ無償で担ってきましたが、近年教員の多忙化が大きな社会問題となり、また少子化によって部活動の部員不足も発生しており、従来のような部活動の維持が困難となっています。そこで打ち出されたのが、学校の部活動の受け皿として地域を活用しようという方針です。

2020年9月、文化庁が提示した「**学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について**」によれば、以下のように述べられています。

- ◆ 部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備

具体的には、つぎのような対策が示されています。

- ❖ 休日の部活動の段階的な地域移行(令和5年度以降、段階的に実施)
- ❖ 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
- ❖ 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- ❖ 拠点校(地域)における実践研究の推進とその成果の全国展開

これらのことは合唱だけに限らず、他の分野でも多かれ少なかれ抱えている課題です。

合唱活動の担い手不足が課題

いま学校現場では、合唱の担い手不足が上げられています。合唱活動を推進する人材の育成が急務といわれています。

スポーツ分野では、各競技団体が目安として指針を示していますが、合唱部活動では、地域クラブ活動における客観的な指針が示されていないといえます。このため、JCAでは中学生等の地域合唱クラブ活動の運営・指導に関する留意点や注意事項を整理し、新たに**地域合唱クラブ活動ガイドライン**を策定することとなり、その素案について関係者の意見を集めるパブリックコメントを実施しています。ガイドラインの概要は以下のとおりです。

第1章：総則

1. ガイドラインの目的 / 2. 用語の定義 / 3. 中学校合唱クラブ活動の運営・指導の基本 / 4. 中学校教育課程の理解

第2章：中学校合唱クラブ活動の運営

1. 運営上の留意点 / 2. 運営体制の整備 / 3. コンプライアンスの徹底 / 4. 重大事故防止に向けた安全対策 / 5. 健康面の留意事項 / 6. 教育委員会及び学校との連携 / 7. 日常活動の対応 / 8. コンクールやイベントの対応

第3章：中学校合唱クラブ活動の指導

1. 指導者に求められる資質 / 2. 技術指導の留意点 / 3. 指導者自身のスキル向上策

地域移行のメリット&デメリット

【メリット】

1. 部活動の選択肢が広がる
2. より専門的な指導が受けやすくなる
3. 教員業務がスリム化され負担が軽減される

【デメリット】

1. 指導者や受け皿の確保が難しい
2. 生徒の安全上の不安がある(とくにスポーツ関係か)
3. 保護者の経済的負担が増える可能性がある

パブリックコメント募集は8/9まで。以下から入力できます。

<https://forms.gle/W3Y4YvB5nNcTk87WA>

詳しくは全日本合唱連盟のホームページをご覧ください。

jca@jcanet.or.jp